

うらしまたろう



つるは、「コー」とひとこえなくと、おおぞらにはばたきました。
つるのこえをきき、おとひめさまは、ふたたびカメにすがたをかえ、たろうのもとにあらわれました。
ふたりはふたたびさいかいすることができました。



あるひ、いつものようにうみにでていくと、
すなはまで、むらのこどもたちがワイワイさわいでいました。



むかしむかし、あるところに、うらしまたろう という りょうしがすんでいました。
まいにち、うみに でかけては、さかなを とって くらしていました。

1

幼児教育に役立つ動画を配信中！



YouTube
のびラボチャンネル



幼児教育・小学校受験対策プリント
ダウンロード販売サイト
<https://www.nobilabo.com/>

©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などご遠慮ください。



ちがついてみると、こどもたちが、こガメを ぼうで つついて いじめていました。
「こらっ。なにしてるんだ。よわいものを いじめちゃだめだ。」
たろうは、こどもたちを おいはらいました。

3



そのとき、たまたまここにはいた つるのはねが フワリと まいあがりしました。
すると、たろうの すがたは うつくしい つるのすがたに かわりました。

20



すると、たまてばこのなかから、しろいけむりが もくもくと でてきました。
このけむりを かぶったあと、たろうは しろいひげの おじいさんになってしまいました。

19



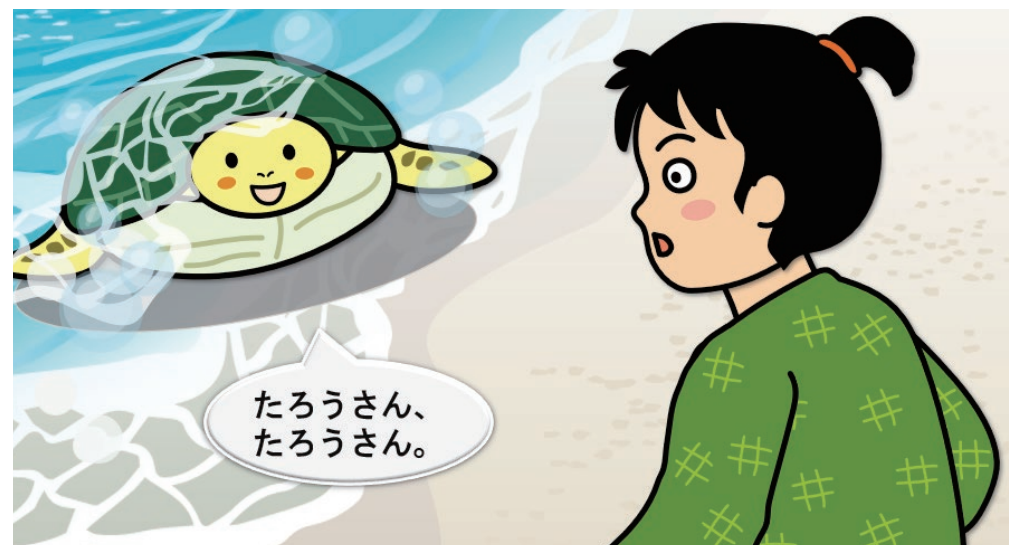
どうやら こガメは、けがをしているようでした。
「かわいそうに、いたかったらう。」
たろうは、こガメを いえにつれてかえり、けがの ちりょうをしてあげました。

4



たろうが とほうにくれて たちすくんでいると、ひとりのおじいさんが ちかづいてきました。
「ここにあったはずの いえをしりませんか。」たろうが たずねると、
「だれも すんでいない ふるいいえが あったが、それもずいぶん むかしのはなしじゃよ」
とこたえました。

17



なんにちか たった あるひ、たろうが うみにいくと、
おおきなカメが およいできました。

6



つぎのひ、すっかりげんきになったこガメをうみにはなしました。
こガメはげんきよくおよいですぐにみえなくなりました。



なんということでしょう。
りゅうぐうじょうですごしたみじかいじかんは、ここではなんじゅうねん、なんびゃくねんもたっていたのです。かなしくなったたろうは、あけてはいけないというおとひめさまのこぼをわすれて、たまたまこをあけてしまいました。



「たろうさん。このあいだは、ちいさなカメをたすけてくださって、ありがとうございます」
「おれいにりゅうぐうじょうにおつれます。どうぞ、わたしのせなかにのってください。」



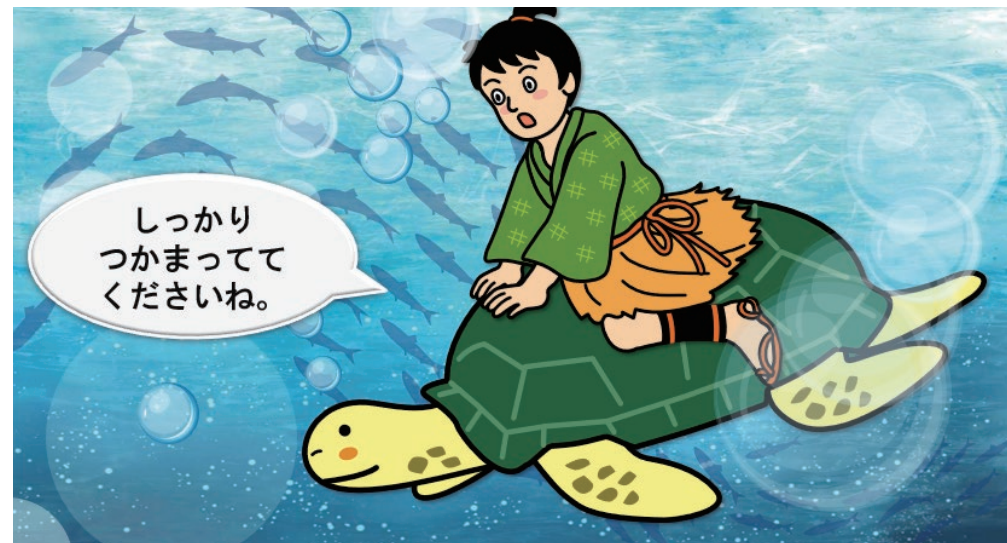
たろうがむらへもどってくると、おどろいたことに、むらのようすはすっかりかわっていました。
たろうのいえがありません。知っているひともだれもいません。
「これはいったいどうしたことだろう。」



たろうさん、
さようなら。

また、
りゅうぐうじょう
にきてくださいね。

「おとひめさま、さようなら。どうもありがとう」
たろうは おとひめさまに おれいをいうと、カメのせなかに またがりました。



しっかり
つかまってて
くださいね。

カメは せなかに たろうを のせると、ザブンと うみのなかにもぐりました。
たろうをのせた カメは、ぐんぐん うみのそこに すずんでいきました。



そんなあるひ、たろうは じぶんのいえのことが きになりはじめました。
そして、なつかしい ふるさとのいえに かえりたくなりました。
「おとひめさま。そろそろ かえります。」
たろうがいうと、おとひめさまは たいそう かなしんで いいました。



「ようこそ、りゅうぐうじょうへ。」
うみのそこの りゅうぐうじょうの まえで、うつくしい おひめさまが たろうを まっていました。



こんぶのもり、さんごのにわを とおりぬけると、きゅうに あたりが キラキラ ひかりかがやきました。まぶしくて、めが くらんで しまいそうです。

9



たまたばこがあれば、ここにもどることができますよ。

「いつまでも ここにいてほしいのですが、しかたありません。」
 おとひめさまは、ひとつのはこを たろうに てわたしました。
 「おみやげに このたまたばこを さしあげましょう。このたまたばこをもっていれば、りゅうぐうへもどれます。でも、もどってくるまでは、けっして はこを あけてはいけませんよ。」

14



たろうさん、ようこそ。

「わたしは、せんじつ たすけていただいた カメで、なまえを おとひめと いいます。うみのそとの せかいをしりたくて、カメに すがたをかえて でかけていたのです。きょうは、あのとのおれいをして、あなたを おまねぎしました。」
 たろうは あまりにびっくりして、すぐには くちがきげずに、ぼかんと してしまいました。

11



おとひめさまは、にっこりわらうと たろうを りゅうぐうじょうのなかへ まねきいれました。「たろうさん、どうか ゆっくり たのしんで くださいね。」
 おおひろまには、ごうかなごちそうがならび、さかなたちが たろうのまわりを ひらひらとまいおどります。みるものすべてが たのしくて、たろうは ゆめのような じかんをすごしました。

12